

<教育利用> ④技術・家庭科（技術分野）「安全に利用するための情報モラル～生成AIの活用～」

事前準備

- ① 生成AIで作成した画像
- ② Copilot利用の演示で使用するプロンプトの試行
- ③ 生成AIの望ましくない使い方についての動画
- ④ 「解の再考」ワークシート

題材のゴールでは・・・

生成AIを安全に利用するために、情報の特性や情報が社会に与える影響を理解して、望ましい情報社会のために取るべき態度を身に付ける。

生成AIは短時間に色々なものを作り出すことができ非常に便利だがリスクもあるため注意して使う必要がある。使用する時は気軽に個人情報を打ちこんだりせず安全な使用を心がけたい。また、フェイク動画などもあるため一つだけの情報だけを信じず複数の情報から判断する必要がある。

生成AIに限らず、生成された情報がすべて正しいとは考えない方がよい。この授業を通して思った。まず、その情報が本当に正しいものなのか確かめたうえで、その情報の信頼性を自分で適切に判断するべきだとわかった。私は生成AIを主にアイデアがほしきときや言語がらみで友達と話をするとときほんやくに使用したいと思いますが、それが正しいのかについては、慎重に判断したいと思っています。

授業や教育が社会で活用されていく必要とされるものによって、使い方を判断を誤らば大変な事になってしまうので、安全に正しく利用していくことが重要。

生徒の反応

- ・情報は誤情報や偽情報もある。正しい情報かどうかを確認することが大切だと感じました。
- ・生成AIはとても便利なツール。利用するときには、生成した情報が正しいかや著作権の侵害等がないかなどの確認が必要です。

授業の流れ

- 1 生成AIについて知る
生成AIを利用して作成された絵画を紹介し、生成AIの概要や種類、関連する言葉を説明する。
- 2 生成AIの第一印象をまとめる
指導者がCopilotを利用して画像を作成する。生成AIを利用した事例から、生成AIの第一印象についてまとめる。
- 3 生成AIの望ましくない使い方について考えをまとめる
動画を視聴し、感じたことや注意すべき点をまとめる。
- 4 生成AIの利用について、「技術の見方・考え方」を働かせながらまとめ、班で協働する
社会からの要求や安全性の面から生成AIの利用についてまとめ、その後、他者と対話したり協働したりする中で、自らの考えを広げたり深めたりする。
- 5 生成AIを安全に利用することについて、まとめる



本時のまとめ

- ・意図的にだますことを目的とした「偽情報」単に誤った情報である「誤情報」がある
- ・生成AIに限らず、作られたフェイクニュースや記事が存在する
- ・生成された情報がすべて正しいとは考えないようにする
- ・生成AIは便利だが、情報の真偽を確かめること（ファクトチェック）が必要である

情報が正しいかどうかを確かめてから使うなど、適切な利用方法を考える必要がある。

情報が正しいかどうかを確かめてから使うなど、情報を安全に利用するためには情報モラルを身に付ける必要があることを知る。